

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第1回中央地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和4年5月19日(木) 18時00分～19時40分		
開催場所		中央公民館大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)		
	その他	2人(中央区長、中央区副区長)		
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開 会 2 区長あいさつ 3 役員選出 4 会長あいさつ 5 委員自己紹介 6 事務連絡 (1) まちづくり会議について 7 議 題 (1) 地域活性化事業交付金について (2) 中央地区の課題に対する取り組みについて (3) まちづくりを考える懇談会について 8 その他 9 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次の通り。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

令和3年度中央地区まちづくり会議副会長の岡本委員より、あいさつをした。

2 区長あいさつ

田野倉中央区長よりあいさつがされ、続けて中央区役所の職員が紹介された。

3 役員選出

中央地区まちづくり会議会則第7条に基づき、令和4年度役員について、次のとおり決定した。

役員名	氏名
会長	鈴木 泰信
副会長	鳥海 千秋
副会長	岡本 和茂

4 会長あいさつ

令和4年度中央地区まちづくり会議会長に就任した、鈴木委員よりあいさつをした。

5 委員自己紹介

令和4年度中央地区まちづくり会議各委員が自己紹介した。

6 事務連絡

(1) まちづくり会議

事務局より、資料に沿って、まちづくり会議の概要を説明した。

〈主な意見・質疑〉

特になし。

7 議 題

(1) 地域活性化事業交付金について

事務局より、資料に沿って、地域活性化事業交付金の概要説明を行った。

また、鈴木会長より、同交付金事業である「富士見小の校庭で遊ぼう！」事業について、事業実施日が6/4(土)と直近であり、事業実施にあたっては本日のまちづくり会議の意見聴取を待ってでは間に合わないことから、代わりに役員会にて

意見聴取を行った旨、事後報告があった。

続けて、小学校の校庭で遊ぼう実行委員会の小澤実行委員長より、「富士見小の校庭で遊ぼう！」事業の実施前の説明がされ、事業に対するまちづくり会議からの協力者を募った。

〈主な意見・質疑〉

特になし。

(2) 中央地区の課題に対する取り組みについて

事務局より、資料に沿って、令和3年度の中央地区まちづくり会議の取組結果及び令和4年度の中央地区まちづくり会議の取り組み（案）を説明した。

その後、全委員に対して、令和4年度の取組みについて意見を伺った。

〈主な意見・質疑〉

○中央地区公園プロジェクトの進捗状況は先ほどの事業報告の件で承知したが、他のきれいなまちづくりチーム及びコミュニティの希薄化に関する検討チームについての進捗状況の報告をそれぞれのチームからしていただきたい。

⇒○コミュニティの希薄化に関する検討チームから報告する。中央地域包括支援センターでは、高齢者のためのお出かけマップの作成を各地域で進めてきた。そして、令和3年度に残っていた相模原5・6丁目に着手し、そこにチームメンバーである中里委員などに加わってもらい進めていったところである。お出かけマップとは、高齢者が外出しやすいようにするため、トイレやベンチ等を示したものだが、特徴としては、地域の民間事業所にも協力いただいで作成している点である。当チームの課題として、相模原5丁目のような自治会空白区域においては情報の伝達手段がないということが挙げられているため、こうした民間事業所にトイレ等をお貸ししてほしいとお願いすることに加えて、たとえば、地域のイベントだとか、地域が発信したい情報を事業所の店舗に掲示してほしいと交渉し、今回協力いただいた民間事業所の半数近くから同意をいただいた状況である。今後は、自治会掲示板がない場所については、高齢者が集まりやすいコンビニやドラッグストア、信用金庫などに地域の独自の情報発信をして、当チームの課題である情報伝達手段の確保に寄与できればと考えている。また、余談だが、今年3月に自治会館にてイベントがあることを当該地域に全戸配布して何人程度集まるかという実証実験も行ったが、雪が降ってしまい期待するような結果は得られなかった。ただ、今後も実証実験は試していきたい。また、当該マップの発行が完了した時点でタウンニュースに取り上げてもらい、それを目にした J:

COM から生放送番組の出演依頼があり、当チームメンバーが番組に出演し、地域の希薄化の現状についてもお伝えした。以上のように、当チームとしては、令和3年度は前進できたものと考えている。

⇒○きれいなまちづくりチームから報告する。当チームで課題としている西門商店街前の通りに面しているごみ・資源集積場所、通称「買い物公園通り」と言われている場所だが、ここについては矢部商店街と異なり、戸別収集ではなくステーション方式の収集がされている。当該集積場所は、通りに面していることもあり、通りを通った人や車で通った人たちが捨てていくという課題がある。これに対して、地元の商店街と自治会等でどのように対応していくかということは大きなテーマである。本来、集積場所の設置は自治会と周辺住民との協議の上で行うものと認識している。引き続き、まちづくり会議においても、対応策を検討していきたいと考えている。

〈結果〉

令和4年度の中央地区の課題に対する取り組みは、以下のとおりとなった。

- ・昨年度の議題は各チームともに継続して審議していく。
- ・地域防災に関する検討（周知内容及び方法の検討含む）をしていく。
- ・必要に応じて、各団体より議題提案シートを提出してもらい検討する。

(3) まちづくりを考える懇談会について

鈴木会長より、今年度のまちづくりを考える懇談会の議題及び実施有無について委員に対して意見を伺った。

〈主な意見・質疑〉

○中央地区まちづくり会議としては、過去2年間、まちづくりを考える懇談会が中止となっている。一昨年はコロナの影響があったが、昨年については議題がないという理由もあり中止とした。まちづくりを考える懇談会は市長を含めて地域のことについて懇談する良い機会であり、議題の有無によってだが個人的には実施した方が良く考えている。

○学校区と公民館区の整合性が取れていないことでの課題について懇談したい。たとえば、過去に町民運動会を実施したとき、私の自治会内には子どもが少ないことから、子ども会には属するが当該地域に在住していない会員に声を掛けて、子どもを出場させたことがある。学校区と公民館区が一致していないことで、子ども会との地域連携の部分での歪みもあり、今後もこれに伴う課題は生じてくると思うことから、今後、このことについて市長ないし行政はどのような展望を抱いているのか、懇談を通して見解を伺いたい。

〈結果〉

令和4年度のまちづくりを考える懇談会は委員の賛成多数で実施することで決定した。なお、具体的な懇談内容については、今後のまちづくり会議で議論することとなった。

8 その他

事務局から、令和3年度と比較して変更となったまちづくり会議の進め方等について説明した。

〈主な意見・質疑〉

特になし。

9 閉会

鳥海副会長より、閉会のあいさつをした。

令和4年度 中央地区まちづくり会議委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	鈴木 泰信	中央地区自治会連合会	会 長	出席
2	館脇 智幸	中央地区自治会連合会		出席
3	鳥海 千秋	中央地区社会福祉協議会	副会長	出席
5	八木 憲哉	中央地区民生委員児童委員協議会		出席
6	熊沢 憲一	中央地区老人クラブ連合会		欠席
7	岡野 博	中央地区青少年健全育成協議会		出席
8	松田 正則	中央地区健康づくり普及員協議会		出席
9	東使 敏二	中央地区防犯協会		出席
10	増田 勝也	交通安全協会		出席
	武田 守弘	中央地区連合自主防災隊		出席
11	松本 勇作	中央小学校 PTA		出席 (zoom)
12	石神 仁	弥栄小学校 PTA		出席
13	佐藤 匠	富士見小学校 PTA		出席
14	岡本 和茂	中央公民館	副会長	出席
15	浦上 裕史	中央地区内商店街		出席
16	澤畔 正裕	中央地域包括支援センター		出席
17	倉澤 良明	公募委員		欠席
18	小澤 隆宏	公募委員		出席 (zoom)
19	中里 良治	公募委員		出席